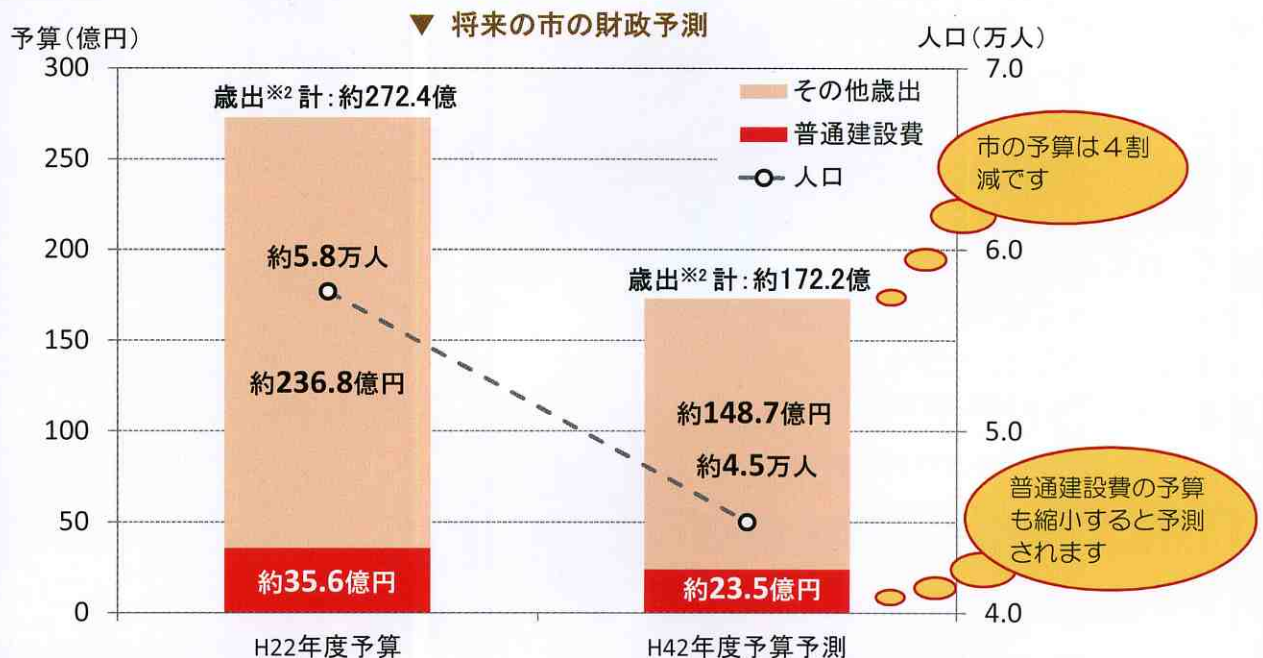


知っていますか！ 財政規模が約4割、縮小が予測されることを

行財政の20年後の見通しを人口と財政規模で相対比較してみます。

平成22年度の人口が約5.8万人であるのに対して、平成42年度の人口は約4.5万人と予測されます。平成42年度の人口は、合併前の旧日南市の平成17年度人口に相当しています。このことから、平成42年度の財政規模は、平成22年度が約272.4億円でしたが、平成17年度の旧日南市の歳出計（約172.2億円）と同程度になることが予測されます。

そのため、平成42年度の普通建設費^{※1}の予算も、約35.6億円から約23.5億円にまで減少することが予測されます。



※1 普通建設費：ものづくりにかけるお金

※2 歳出：市が行政運営の全体にかかるお金

今後のまちづくりの課題と本計画の策定意義！

本計画を策定するに当たり、地域の問題点を把握するため、市民のみなさんと地区別に意見交換会を実施しました。みなさんの意見と現状の諸データの分析により、以下のような8分野で課題が浮かび上がりました。

これらの課題を解決する方策は、個別の対策だけでなく、複数をまとめて対策を行うことが効果的な場合があります。そのため、各分野でのそれぞれの課題解決にあたっては、まちづくりの目標の下で、総合的な観点から対策を講じることが重要です。そのために、本計画を策定する意義があります。

